



園の子どもたちのありのままを見てもらえるし、園のアピールにもなっています。

Q: 最近では少子化が進み、どの園も悩んでいるところですが、何か心得ているところはありますか。

A: 1つ1つ丁寧に。家庭と園の垣根を低くして、口コミを大切にしています。

Q: 教職員採用も厳しい時代ですが、何か心得ていることはありますか。

A: ホームページに採用した先生方の出身校を載せています。先輩がいるということは心強いようです。また、子どもたちが行事で学ぶものと遊びで学ぶものを示し、バランスよく生活していることの説明を載せています。

Q: 未来に向かう子どもたちへ一言

A: 優しいところ・感謝するところ・仲良くするところ・よく考えるところ・最後まで頑張ることを大切に。  
“こころ豊かにたくましく”

笑顔あふれるお2人からは、温かい愛情が伝わってきました。御協力ありがとうございました。

幼稚園アルバム



# ぜんさいりょう

No. 136  
2024.7.15

## 第12回 通常総会

令和6年5月31日、6月1日、全埼玉私立幼稚園連合会第12回通常総会が鬼怒川温泉「ホテル三日月」にて開催され、全議案が滞りなく承認された。

10年間にわたりご尽力いただいた四ツ釜雅彦会長から松尾 創会長にバトンが渡された。四ツ釜雅彦先生、長い間本当にありがとうございました。



## 新時代

松尾 創

全埼玉私立幼稚園連合会 会長



皆さん、お元気ですか。

今、私たちは、これまでの経験と知見を踏まえ、未来を担う子どもたちにとって、より良い教育環境をどのように築いていくのか、新たな時代に向けた挑戦を始めます。

私は、埼玉県内のおよそ550園が、それぞれの個性を活かし、創造力の豊かな環境を整備できるよう、支援していく必要があると考えます。そのために、幼稚園・こども園の教職員の研修や情報発信、各園での実践事例の共有などに力を入れていきます。

こどもの「笑顔と活気に満ち溢れる、未来を拓く」幼稚園・こども園。

そのために、全埼玉私立幼稚園連合会は、新たな時代へ向けて、歩んでまいります。



## Contents

- 2 ▶ 学事課長講演  
後継者意見発表
- 3 ▶ 役員紹介
- 4 ▶ 幼稚園めぐり  
川越市での取り組み

今回は昭和25年開園し、75周年を迎える『そらにとどき認定こども園ののの』にお伺いしました。

インタビューにお答え下さったのは、総務 高橋和子先生と副園長 高橋悦子先生です。

Q: 園名の“ののの”についてはどのような思いがあるのですか。

A: のののさまが見守って下さっている意味の“の”子どもたちがのびのび大きくなってくれますように“の”です。

Q: 園舎の一部が子育て支援センターになっているようですが。

A: 久喜市からの委託です。当園は園内に設置しているため支援センターの保育士やプログラムは園に任されています。支援センターに訪れる親子に、



副園長 高橋悦子先生 総務 高橋和子先生

## 川越市での取り組み

川越市

川越市は、歴史と伝統のある城下町で、小江戸川越の観光地としても有名です。人口約35万人の中核都市のため、行政サービスが縦割りになりやすく、横の連携が希薄になることがしばしばみられます。

そこで、令和4年10月に、子どもたちを預かる、受け入れることを職種としている民間団体の人たちと、横のつながり、連携を図るべく、埼玉医科大学小児科教授の是松聖悟先生を会長に小江戸・こども支援推進協議会を立ち上げました。徐々に仲間が増えていき、今では小児科医、看護師、幼稚園、認定こども園、保育園、療育、さらには福祉の行政機関、教育委員会など行政も巻き込んで、多職種の方々と交えて、様々な視点から情報交換を行い、連携するために定期的に勉強会などを開催しております。子どもたちと保護者の悩みが、どの施設を利用してもしっかりと解決に繋がるために、相互理解を図りより深い連携を模索しております。



## 弔事

- 3・2 学校法人野口学園  
浦和めぐみ幼稚園(さいたま市)  
野口 勝彦 理事長・園長逝去
- 4・14 学校法人十文字学園  
十文字学園附属幼稚園(新座市)  
十文字 一夫 理事長逝去
- 4・25 学校法人熊井学園  
愛宕幼稚園(桶川市)  
熊井 富子 前理事長逝去

## 慶弔

## 編集後記

委員会では、広報誌・IT(ホームページ)についてのアンケートを5月より実施いたしました。多数の御回答に深く感謝申し上げます。

いただいた御意見を生かして参ります。設置者・園長様にはタイムリーな情報、若い先生方には、この仕事いいなあー。と実感できるような紙面とホームページを委員一同工夫し、リニューアルしていきたいと思っております。

今まで広報誌で取り上げていました「上期実施事業及び計画」等はホームページに移ります。合わせて御覧ください。

広報委員会は、未来に向けて頑張ります。



学事課長講演

# 私立幼稚園等に関する 施策について

埼玉県総務部学事課 課長

渡邊 和貴



資料は  
こちらから



## 第12回 通常総会

令和6年5月31日～6月1日

### 埼玉県における私立幼稚園の数

令和6年、県内における私立幼稚園数は、私学助成園338園、施設型給付園55園、幼稚園型認定こども園37園の合計430園である。そして幼保連携型認定こども園は、139園である。

### 令和6年度私立幼稚園関係主要予算について

私立幼稚園運営費補助については、一般補助と特別補助に分かれている。今年度特別補助の一つである教職員処遇改善事業の補助内容が拡充される。教職員処遇改善事業は、給与のベースアップを行った幼稚園、又は、処遇改善を目的とした毎月の手当を教職員に支給している幼稚園に対し、賃金改善額の一部（3/4相当額）を補助するものであり、現在191園がこの制度を利用している。令和6年度からは、月額9,000円の上限がなくなる。また、今年度からこどもの発達カウンセリング支援事業として新規の補助が始まる。発達が気になるこどもを幼稚園が受け入れるにあたって、保護者や教職員の不安を解消するために、幼稚園で行う心理士等の専門家による相談事業に対する補助である。

### 私立学校法の改正について

昨年度から動画研修として案内をしている私立

学校法の改正については、全ての学校法人において寄付行為の変更をしていただく必要がある。その概要は、「執行と監視・監督の役割の明確化・分離」の考え方から、理事・理事会、監事及び評議員・評議員会の権限配分を整理し、私立学校の特性に応じた形で「建設的な協働と相互けん制」の確立である。改正のポイントは3つあり、①理事・監事・評議員の規定の見直し、②会計・決算関係の規定の見直し、③役員等の特別背任等の規定の整備である。施行日の令和7年4月1日に向けて、理事・監事・評議員の基本的資格、定数、任期、主な構成要件、解任方法などについて見直し、寄付行為の作成を進めてほしい。県学事課でも、メール、電話、対面（県学事課の窓口）での、法改正に伴う寄付行為変更について、事前審議会を行っている。スムーズに申請を行っていただくために、できるだけ6月末までに相談のご協力をお願いしたい。



## 後継者意見発表会

今年度は下記の4人の先生方から四人四用の個性あふれる発表があった。それぞれ他業種を経て幼稚園に入った経緯や、日々の奮闘の様子が目に浮かぶようなお話だった。先代の大事にしてきたことを継承しながら社会の変化にあった幼稚園経営を進めておられる。



第12回通常総会が無事終了しました。日々会員園のためにお力添えいただいております事務局の皆様にご感謝申し上げます。

### 事務局

菊池 睦 (事務局長)  
増岡 千里  
長塚 洋子

### 幼児教育センター

四ツ釜雅彦 (センター長)  
平田 誠一  
大岩 誓子

## 専務理事・ 副会長紹介



専務理事 佐藤 緑郎 (大宮みどりが丘幼稚園) | 副会長 若山 清和 (森の詩幼稚園) | 副会長 橋本 義 (片柳幼稚園) | 副会長 中森 茂治 (志木なかもり幼稚園) | 副会長 竹村 厚子 (大袋幼稚園)

### 新専務理事・新副会長挨拶

令和6年度は、新会長松尾創先生のもと新たな組織として動き出しました。これまでの長きにわたる歴史、諸先輩の思いを引き継ぐと同時に、時代の流れを読み、変革を押し進める団体として5名力を合わせて会長のサポートをして参ります。まだまだ未熟ですが、皆様のご意見やご協力をいただきながら一生懸命努めて参ります。

### 抱負

- 全会員園の繁栄と全会員の皆様にとって魅力的な組織にしていきたい。
- 政治や行政に対し、幼稚園・認定こども園の存在意義や子育ての環境改善を訴え、将来の日本を豊かにしたい。
- 拝命した立場を重く受け止め、「守破離」という言葉を胸に全力で一生懸命努めさせていただきます。
- 子どもたちの健やかな成長のために、共に学び歩いていきましょう。
- 困難も前向きにとらえて、笑顔で一年間努めて参ります。

## 常置委員会 委員長紹介



出版 細谷 洋 (富士見みずほ幼稚園) | 政策 横瀬 敏也 (かみひろや幼稚園) | 広報 千代田 正美 (神戸幼稚園) | 総務 鈴木 甚一 (あさか台幼稚園) | 人材 島田 久美子 (吹上中央幼稚園) | 教育研究 関山 典央 (杉の子幼稚園)

## 特別委員会 委員長紹介



新制度 浅沼 宏之 (ひなぎく幼稚園) | 次世代 大熊 啓太 (足立みどり幼稚園)

## 委員会方針

全埼玉私立幼稚園連合会は、設立から37年、公益社団法人へ移行して11年目を迎えます。その間、昭和のベビーブームから平成・令和の少子化の時代に入し、幼稚園を取り巻く環境も大きく変わりました。全埼玉私立幼稚園連合会では松尾会長のもと、私学助成園・認定こども園・施設型給付園・102条園といった類型別の対策にとどまることなく、全ての加盟園が一体となる幼稚園連合会を目指し今年度、組織改編を行いました。

どの委員会も埼玉県の私立幼稚園が建学の精神のもと、質の高い幼稚園教育と健全経営が両立できる環境になることを目指し努力してまいります。